

平成27年度 事業計画

静岡市は徳川家康公顕彰四百年という記念すべき年を迎え、官民を挙げた様々なイベントにより更なる観光客の増加が予想されます。また、近年の円安傾向や、2019年のラグビー・ワールドカップ、2020年の東京オリンピックというビッグイベントの開催により、日本を訪れる観光客は今後大きく伸びることが期待されます。

このような状況を踏まえ、コンベンション等推進事業においては、首都圏等での誘致活動や国際会議等の開催に影響力を持つキーパーソンの招請のほか、大会参加者の市内での移動支援制度の創設などで、学会や国際会議等の更なる誘致に努めます。更には、外国人観光客の誘致促進に向けた誘致活動、地元旅行業者の育成支援、また、大型客船入港時における「おもてなし」事業にも積極的に取り組んでまいります。

観光振興事業においては、新たに一元化された WEB サイトや SNS を活用したタイムリーな情報発信により「三保松原」や「徳川家康公顕彰四百年記念事業」をはじめとした様々な観光資源の積極的な PR に努めます。また、首都圏等で開催されるインバウンド商談会への参加や、高速道路の整備などによりアクセスの向上が見込まれる地域への集中的なプロモーション活動などを展開することで、国内外からの観光客の誘致事業を積極的に推進してまいります。

【公益目的事業】 予算額 187,427千円 (26年度 164,796千円)

《コンベンション等推進事業》

1 コンベンション等誘致事業

日本政府観光局(JNTO)が実施するコンベンション等振興策の活用及びJCCB 主催の会議、中部コンベンション連絡協議会、県コンベンション推進協議会等からコンベンション等の情報を収集し、積極的に誘致を行う。また、圏域内で開催したコンベンションの経済波及効果を調査し、コンベンションの開催意義を広く紹介する。

(1) 見本市出展及び MICE 商談会等への参加

- ・国内唯一の国際 MICE 見本市である「国際ミーティングエキスポ」をはじめ、JNTO や静岡県などが主催する国内外の見本市及び商談会に賛助会員や関係者とともに出席し、圏域の PR 及び誘致活動を行う。また、商談会の開催に合わせ、台湾、韓国及びタイの旅行社、マスコミ等を訪問し、誘致セールスと PR 活動を行う。

(2) 首都圏等における誘致説明会・戸別訪問・・・(重点)

☆県中部地域で開催可能性のある主催者等を対象とした誘致説明会の開催

☆首都圏等の大会事務局を戸別訪問し、誘致活動を実施する。

- ・金沢市・高松市・宮崎市・盛岡市と協働し、効率的な大会誘致を行う。

(3) 主催者招請事業

- ・JNTO や静岡県などの関係機関と連携し、国際会議やインセンティブ旅行などの開催に影響力を有するキーパーソンを招請し、誘致につなげる。

(4) ランドオペレーター育成事業・・・(新規)

☆訪日外国人観光客に係る地上手配を行う地元業者（ランドオペレーター）を育成し、誘客につなげる。

(5) 世界 SF 大会の誘致支援・・・(重点)

☆2017年の静岡開催を目指し、主催団体と連携した誘致活動を実施する。

2 コンベンション等開催支援事業

(1) コンベンション等誘致助成金交付事業

ア 国際会議誘致助成金交付事業

国際会議の誘致を促進するため、主催者に対し助成金を交付する。

イ シャトルバス運行助成金交付事業・・・(新規)

☆コンベンション参加者を最寄りの駅から大会会場などに移送するためのシャトルバスの運行に要する経費の一部を助成し、誘致の促進を図る。

(2) コンベンション開催準備資金貸付事業

貸付要件を満たす主催者に対し開催準備資金の無償貸付を行う。

(3) その他支援事業

ア 歓迎モニュメント設置

・大会名入りのモニュメントの設置により、大会参加者に歓迎の意を表す。

イ 観光インフォメーションデスクの設置

・大会開催時に賛助会員企業の協力を得ながら、観光名所や土産品の案内など参加者の利便を図る案内・販売ブースを設置する。

☆増加する大型客船入港に対応し、国内外からの乗船客に対する歓迎・案内業務を充実する・・・(重点)

ウ 観光パンフレット等の作成及び提供

- ・圏域内の観光施設などの優待割引券マップなどを作成し提供する。
- ・オリジナルコンベンションバッグ、名札を作成し、安価で提供する。

《観光振興事業》

3 観光宣伝事業

(1) 観光パンフレット等作成・配布事業

- ・パンフレットの整理統合と、着地型への移行
- ・外国人向けパンフレットの充実・更新
- ・新たな観光 PR ポスターの作成

(2) 広告宣伝事業

- ・旅行雑誌、地方紙等に主要観光地や旬な情報等の広告を掲載する。

(3) 情報発信事業・・・(重点)

☆静岡市の観光情報を一元化した WEB サイトの更なる充実

☆SNS を活用したタイムリーな情報発信の充実

(4) 静岡市プロモーション人材事業

当財団主催イベントや依頼団体のイベントに参加し、事業のPRを図る。

(5) 誘客イベント開催事業（フォトコンテストの実施）・・・（新規）

☆富士山をはじめとした本市ならではの観光素材を題材としたフォトコンテストを実施し、パンフレット等の広告媒体に活用し本市の魅力をPRする。

4 観光客誘致事業

(1) 教育旅行団体誘致事業

ア 訪日教育旅行誘致事業

- ・静岡市訪日教育旅行誘致協議会の一員として富士山静岡空港の就航先である台湾などの中高生等の教育旅行誘致のため、JNTO 主催の商談会に参加する。
- ・県内の他ビューローと共同し、韓国からの訪日教育旅行の誘致事業を実施する。

イ 修学旅行等教育旅行誘致事業

静岡市及びしずおか体験教育旅行事務局と連携し、関東圏、中京圏等の小中学校へ、体験学習メニューを紹介するなどの誘致活動を実施する。

(2) 国内旅行者・インバウンド誘致事業・・・（重点）

ア 観光キャラバン隊派遣事業

☆客船誘致や海外からのインバウンド誘致促進を含め、賛助会員企業とともに国内外の旅行エージェントなどを訪問し、静岡への誘客に向けた旅行商品の造成を要請する。

☆派遣先の新聞社やテレビ局などを訪問し、「三保松原」や「徳川家康公顕彰四百年記念事業」など静岡市の魅力を積極的にPRする。

☆高速道路の整備や航空機の就航先などアクセス環境の変化に対応した効果的な観光キャラバンを実施する。

イ 観光展出展事業

- ・富士山静岡空港の就航先や姉妹都市、友好都市などで開催される各種観光展やスポーツイベント等に出展し、静岡市の魅力をPRする。
- ・首都圏における情報発信イベントを実施する。

☆国内最大級の旅行商談会である「ツーリズム EXPO ジャパン」に賛助会員とともに出展し、外国人観光客の誘致を図る・・・（新規）

5 観光客等受入事業

(1) 観光案内所運営事業

- ・JR 静岡駅北口、南口及び清水駅前観光案内所を運営し、静岡市の観光案内や旬な情報を発信することで、観光客その他の利用者の利便性を高める。
- ・世界遺産構成資産である三保松原の案内所において、三保の魅力とともに、市内の他の観光地を積極的にPRすることで、観光客の回遊性を高める。

☆徳川家康公顕彰四百年を記念して駿府城内に設置した案内所において、「家康公が愛したまち静岡」のPRに努める・・・（重点）

(2) 船宿「末廣」運営事業

・清水港船宿記念館「末廣」を運営し、清水港及びその周辺地域の歴史に関する資料展示を行うとともに、観光と物産の情報を提供し、静岡市を訪れた観光客の満足度の向上を図る。

(3) 観光ボランティア活動支援事業

・世界遺産登録や徳川家康公顕彰四百年記念事業を踏まえ、増加が予想される観光客に対し、静岡市の歴史や文化、観光などをよりの確にガイドできるよう、ボランティア団体の活動を育成、支援する。

(4) セミナー・交流会開催事業

・宿泊施設・飲食店・タクシー等の直接観光客と接する事業者又は市民に対し、おもてなしの意識の向上と啓発を目的にセミナーを開催する。

☆多岐にわたる業界からの参加者を対象とした「異業種交流会」を開催し、情報交換とビジネスチャンスを提供する・・・(新規)

6 イベント等支援事業

地域振興への貢献と情報発信及び相当程度の集客力が見込まれるイベントに対し助成するとともに、事業の実施を支援する。

〈対象事業〉

- ・清水カップ全国グラウンドゴルフ大会
- ・アロハ三保フェスティバル（仮称）
- ・日本平梅まつり
- ・井川もみじマラソン

7 震災等大規模災害時における被災地支援

震災等の大規模災害が発生した際に被災者を支援するため、該当地の経済的復興を目的とした物産展の開催や当地に避難された方への観光施設利用料補助等の支援を行う。

【収益事業等】 予算額 19,197千円 (26年度 17,746千円)

(1) 観光施設に隣接する駐車場の管理・運営事業

- ・登呂遺跡駐車場運営事業
- ・静岡市駿府城跡観光バス駐車場受託事業

(2) 静岡駅地下道ショーケース貸付事業

(3) 観光施設等での土産品等販売事業